

2026 年 2 月 4 日

保護者の皆様へ

日出学園小学校

校長 荻原 巖

2025 年度学校評価アンケートの結果について

保護者の皆様には、平素より、本学園の運営、教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、昨年 10 月に実施した本年度「学校評価アンケート」の結果がまとまりましたのでご報告いたします。回答をいただいた皆様には、この場を借りて、ご協力に感謝申し上げますと共に、今回のアンケート結果の主要点、及び皆様から頂戴したご意見に対する学校の対応につき、以下の通り、お知らせいたします。

尚、早期の対応が可能な課題については、速やかに改善策を実施してまいります。

1. アンケート回収率

保護者回答率は 89.4%（対象者 612 名中 547 名）で、前年度比プラス 9.4p t でした。より多くの保護者様のご意見を学校運営に生かすべく、次年度以降も是非多くの回答をいただきたくご協力をお願いいたします。

2. 中学進学について

5 年生で 35.3%、6 年生で 45.3%の方が日出学園中学校への進学希望と回答されました。まだ決めていないとの回答が低学年では半数近くになる傾向には変わりはなく、お子様の成長を見ながら進路を考えている方が多いようですが、1 年生では 33.0%の方が内部中学校への進学希望と過去 2 年と比較しても大きく上昇しました。2 年生以上では、昨年の内部進学希望割合と比較して、2 年生は 21.0（1 年生時）→29.5%、3 年生は 15.9（2 年生時）→29.6%、4 年生は 29.9（3 年生時）→39.5%、5 年生は 28.4（4 年生時）→35.3%、6 年生は 38.7（5 年生時）→45.3%と各学年とも前年の意向から増加していました。6 年生で内部進学を決めた理由としては、「在校生の雰囲気」の回答割合が保護者、児童とも高く、コロナ禍から通常の学校生活に戻り中高生の活動の様子に触れる機会が増えたことも関係していると思われます。次いで保護者は「教育方針」、児童は「やりたい部活がある」を挙げています。内部中学校の教育内容や進学実績について知る機会が充実しているかについては、61.1%の方が「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」に回答されました。一方、充実していないと思わない理由では、「教育内容や進学実績について知れる機会が少ない」「中学校教員を知る機会がない」の回答割合が大きかったです。2 学期末に日出学園中学校の学校説明会が設定されていますがそれ以外にも個別で学校案内も行っていますのでご希望がありましたら中学校広報部までお問い合わせください。

3. 学校生活に満足しているか

約 97%が「学校生活に満足している」と回答し、理由として「友人との良好な関係」「先生との良好な関係」が上位に挙がることは例年と変わりありません。教員と児童、児童同士の人間関係がより重視され、学校が安心して楽しく生活できる場であることが窺われます。そのことから、約 97%の方が本校入学を薦めたいと回答いただけていると思います。逆に少数ですが「先生、友人との関係性」で本校を薦められないと回答された保護者もおられます。ご指摘いただいた、「教員の質・言動について・

教員間での対応の差」については、全教職員で共有し改善に努めます。

4. 今後の本校に期待すること

回答割合の高い項目は「自主性を育む教育内容の充実」61.1%、「心の教育の充実」58.5%、「学力向上施策の具体化」53.8%等です。主体的に学ぶ活動を通して学力を伸ばすとともに、道徳だけでなく行事、異学年、異校種との交流を通して心の教育に取り組み、計画・振り返りを行うことで次につながる仕組みづくりを行います。人としての在り方が学ぶ姿勢を支えることにもつながると考えています。日々の授業を軸に基礎学力の定着はもとより、夏期補習等の補習機会を充実させます。また、現在3年生から展開している言語表現の授業を1年生から取り組みます。児童の作文コンクールでの受賞状況を見ても効果が表れており、学習の基本となる力につながっています。

5. 重要だが実現できていない項目について

「自ら学ぶ姿勢」は昨年と同様に重要だが実現できていない項目の一つです。与えられた学習課題だけに取り組むのではなく、この3学期には4年生以上でセレクトラーニングの活動に取り組む計画です。大きな課題に対して、どの教科・授業から自分の答えを見つけるのかを自分で考えて選ぶ、自分から学びをつかみに行く授業を行います。小学校の研究テーマとして今後も発展的な授業を行っていきたいと考えています。

6. 実現度が低かった項目について

中学を知る機会について、重要度は他項目との比較ではそこまで高くはないものの、実現度での比較では他項目の結果を大きく下回る結果となりました。中学進学先の決め手の主な理由として「大学進学実績の良さ」となっています。「教育内容や進学実績について知れる機会が少ない」という回答がりましたが、12月の懇談会の日に実施した中学校の説明会の参加者は増えていましたので今後も情報を得る機会を作って参ります。

7. 自由回答の内容でこの紙面でお答えできること

- ① 給食の導入については、学園の基本方針が家庭でお作りいただいた弁当持参となっており、注文弁当制度で補っています。それ以外のことについては何ができるか検討をしていきます。
- ② ランドセルが重いということについては、引き続きにはなりますが、学校保管の学用品と持ち帰る物の選別をして、児童の身体の負担軽減に努めています。基本的には置き勉（学習用具を学校の机及びロッカーに置いておく）としており、宿題がある場合のみ必要なものを持ち帰るようにしています。同様に chromebook が重いというご指摘には、充電がしてあること、家庭で利用できる電子機器がありモノグサでの課題に対応できるという条件で職員室で預かる対応もしています。3年生以上の学年で軽いリュックサックの使用については検討を始めました。ランドセルの利点（重心の位置が肩に近く安定性があること、何かにぶつかったときに衝撃吸収の役割もするなど）もあるので併用使用ではどうかとも考えています。小学生の体に合った大きさ等も検討を始めたところです。
- ③ 制服関係については、夏服にポロシャツ（男女とも）キュロットスカート（女子）を今年度より導入しご好評をいただいています。制服（冬服）についてのYシャツ、ブラウスについては変更の予定はありませんが夏服時の長袖のポロシャツ、ウールのように重くなく軽いコート、長ズボンについては検討します。
- ④ スクールバスについては、利用者一人当たりの負担金の金額が大きく、見送りました。
- ⑤ 来年度からの5日制については皆様のご理解ご賛同をいただきました。併せて短縮3時間から4時間、昼食後下校への変更も行います。よりメリハリのついた学校活動に取り組みます。

- ⑥ 学校からの発信については、保護者の方の要望に合わせ、昨年より「学年だより」を前月20日に BLEND での配信、学校ホームページへの掲載、児童への紙媒体での配布の3つの方法で同時に行っております。それ以外は、保護者の方へは BLEND での配信、児童へはロイロノート及び連絡帳での連絡を基本としていますが、家庭での指導に生かすため宿題等の情報共有について落ちのいないよう努めます。予定は早めに、また、直前での連絡になることがないように再度小学校教員内で共有します。
- ⑦ 宿題の質と量については、長期休暇中の宿題の削減の要望が複数出た一方で、通常時での宿題の量を増やしてほしいという要望もありました。宿題がほぼない学校では、「何をやったらいいのか分からなくて困っている。」という声があるという話も聞きます。また、基礎的な内容を繰り返し取り組み徹底して身に付けることによって今後の学習に必要な力が伸びる側面もあります。「必要な宿題」として児童が意欲をもって、自ら学習に取り組むことにつながる形に工夫していきたいと考えています。

上記以外の自由回答内容も含め、学校評価の結果を教職員で共有し、皆様に満足いただける学校運営を目指してまいります。

今後も引き続き、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

以上